

交換留学(派遣) 帰国報告書

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	ヴェネツィア大学
留学先での所属学部・研究科:	人文学部
留学先での在籍身分:	交換留学生
留学期間:	2019年2月1日～2020年1月15日
神戸大学での所属学部/研究科:	国際人間科学部
学年(出発時):	3年
帰国日:	2020/1/16
本報告書記入日:	2020/1/19



1. 留学先大学について

1-1	学年開始月日:	9月17日(2019年)
	学年終了月日:	9月14日(2019年)
	学期:	①9月17日～11月3日
		②11月5日～2月2日
	③2月4日～3月23日	
	④3月25日～6月15日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	様々な専攻がありますが、経済学と、アジア系の言語に強い大学です。中でも日本語学科はヨーロッパでもトップレベルの教育を行っています。
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	留学生向けのイタリア語の授業が開講されていて、自分のレベルによって受講することができます。また、英語開講の授業もあります。
	勉学面でのサポート:	特別目立ったサポートはなかったように思います。オフィスアワーを使って個人的に先生に聞きに行くことはできます。
	精神面でのサポート:	日本人留学生が多いのと、日本語学科の学生がたくさんいるので、いざという時に日本語で助けを求められる環境は作りやすいと思います。
	住居・生活面でのサポート:	Buddy programというものがあり、最初の手続きが多い時期は特に、彼らに助けてもらうことができます。
	課外活動のサポート:	ESNという学生団体が留学生向けのイベントをたくさん行っています。
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	クリックで別シートへ
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか?	はい

2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	学校のhousing officeを経由して家を決める方が多いと思いますが、その場合、準備ができた直ちに申し込みをした方がいいです(寮のシングルルームなどは埋まりやすい)。また、寮以外でアパートなどに住む場合、housing officeを経由した場合でも、トラブルを防ぐため契約書にサインする前にしっかり読むようにした方がいいです。寮の場合、長期休暇の間は住むことができない場合があります。自分の留学期間を踏まえ、その間どうするのか(一時帰国する、別の宿泊先を探す、引っ越すなど)を考えた方がいいです。
-----	--------------------------------------	--

3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	寮にはwifiがないことが多いです。私が住んでいたアパートでは、家ごとの契約で、五人でシェアして月15ユーロほどでした。
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	大学内はログインすれば大体繋がります。
3-2	医療について 留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	皮膚にトラブルがあり一度だけ受診しました。受診料は後払いで、40ユーロほどでした。
3-3	銀行口座等について 留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	海外のATMでお金をおろせる日本の銀行のキャッシュカードを持って行きました。また、海外送金をしなければならない時のための準備もしておきました。

4. 経費について(奨学金、留学費用)		
4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	JASSO
	支給額(円/月):	8万円
	その他(渡航費等の支給):	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。 (概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	150000円
	住居費:	(月額) 35000円 × (留学月数) 12ヵ月 = 420000円
	食費:	(月額) 20000円 × (留学月数) 12ヵ月 = 240000円
	保険料:	90000円
	その他:	250000円
	合計(留学期間全体の費用):	1000000円(旅行費など除く)
5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	イタリアはよく日本と全然違う文化を持つと言いますが、そこまで構える必要はないと思います。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	正直あまり持たなかったです。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	夏休みの間、約一ヶ月間ホテルでインターンシップをやらせていただきました(自分の研究と進路に役に立つと考えたため。無報酬です。)アルバイトはしていません。
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	ベネチアは街全体が観光地化しているため、英語の通じやすさと治安の良さは他の都市よりも高いと思います。その分、物価が高かったり大きなショッピングモールやスーパーなどへのアクセスがあまり良くないですが、学校に行く分にはそこまで困らないかなと思います。
6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	私は4回生の1月帰国でそのまま就職活動というスケジュールだったので、3回生の夏に複数社の1dayインターンシップに参加しておき少し会社の情報集めをした後、出発前後は留学に集中しました。留学が終わりに差し掛かる4回生秋に帰国後のインターンシップを調べて申し込みをしておきました。
7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	特に参考にしていたものはありません。
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	水が違うため、肌や髪に不安がある人は、日本製のケア商品を持って行っておくといいです。
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	語学面に関しては、イタリア語の上達が特に顕著でした。その分英語は大きく伸びませんでした。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:(イタリア語 A1) → 帰国後:(B1) 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	街としてのトラブルでいうと、過去最大級の高潮が襲ったことです。街全体が大きな被害を受け、学校を始め様々な機関が数日間ストップしました。個人的には住居関係です。前半は寮に住んでいたのですが、夏休みの間住むことができないということで、引越しを決めました。学校のhousing officeに相談しましたがあまりいい物件が見つからなかったため自力でfacebookなどを通じて探しました。自分の後に住む人を探すときも含め、なかなか見つからない不安や、手続きに関しての不安もありましたが、何とか見つかりました。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	特に要望はありません。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦めず。場所に限らず留学自体みなさんに薦めたいですが、特に、日本語教育に興味がある人にはヴェネチアはもってこいの場所です。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えしてください。	
	・留学先大学の授業の「質」(内容, レベル等)に満足しましたか	5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	3
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	4
	・住居の「質」(広さ, 料金等)に満足しましたか	3
	・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか	3
・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	4	
・留学全体の総合的な評価	4	

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)

イタリアは英語圏ではありませんし、特にヴェネチア大学には留学生(特に日本人)が多く日本語を話せる学生も非常に多いため、本当に自分次第で生活がガラッと変わります。私が見てきた中でも、英語を向上させるため、留学生同士のコミュニティを大切にしていた人、学校での学びを重視し、たくさん授業をとっていた人、現地の学生や日本語学科の人とのコミュニティを大切にしていた人、課外活動に積極的に参加していた人など様々です。私はこの留学で本当にたくさんの出会いと経験をさせていただきました。イタリアだから経験できたこと、日本語学科があるからできた一生の出会い、観光都市ヴェネチアに住んでいたから学べたことがありました。みなさんには、自分自身留学生活で何を重視するのかに応じて大学を決めて欲しいです。また、どの大学になったとしても、オープンに様々なことに積極的にチャレンジしてください。

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	LINGUA ITALIANA- LIVELLO PRE-INTERMEDIO	TOSCAN A Anna	7.5	6	イタリア語	20	イタリア語B1レベルです。毎週宿題が出ます。特に予習は必要ありません。成績は3回の作文、PCテスト、プレゼンテーションの三つの総合評価でした。
2	LINGUA INGLESE	MILES Susanna	4.5	6	英語	100	ツーリズムに特化したアカデミックな英語の使い方に関する授業です。たまに宿題が出ますが、評価は主に最後の試験とプレゼンテーションで決まります。
3	CROSS CULTURAL MARKETING	VESCOV I Tiziano	4.5	6	英語	60	異文化間でのマーケティングに関する授業です。予習復習は必要ありませんでしたが、授業内で二つプレゼンがあるのと、最後に筆記テストもありました。
4	ECONOMIA DEI SISTEMI TURISTICI (聴講)	CAMATT I Nicola	4.5	6	イタリア語	80	ツーリズムに伴う経済システムに関する授業です。授業内のプレゼンと筆記テストで評価されるようです。
5	SVILUPPO TERRITORIA LE E SOSTENIBILITÀ TURISTICA(聴講)	VALLER ANI Francesc o	4.5	6	イタリア語	80	ツーリズムの持続可能性に関する授業です。筆記テストで評価されるようです。
6							

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスのサイズは様々で、英語開講のものは上級生向けのものが多いです。クラスのサイズは日本に比べると小さいです。特に正規生の授業ではテスト前になるとみんなが図書館に毎日こもって勉強するほどハードなものが多いですが、その分得るものが多いと考えることもできると思います。また、近くにVenice International University がありそこでは授業が全て英語で開講されていて、内容も面白いものが多いため、その授業もチェックして、興味がある人は早めに申し込み、登録しておくといいです。イタリア語開講の授業に合格するためにはある程度の語学力が必要です。テスト登録は後からできるので、とりあえず聴講という形にもできることがあるので、検討してみるのも良いと思います。